

## 単元の内容

### B 衣食住の生活

#### 学習指導要領の位置付け

- (4) 衣服の着用と手入れ
  - ア(7) 衣服の主な働き、日常着の快適な着方
    - (イ) 日常着の手入れ、ボタン付け及び洗濯の仕方
    - イ 日常着の快適な着方や手入れの工夫
- (6) 快適な住まい方
  - ア(7) 住まいの主な働き、季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方
  - イ 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や掃除の仕方の工夫

#### 身に付けさせたい力

##### 【知識及び技能】

- ・ 衣服の主な働きが分かり、季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解する力
- ・ 住まいの主な働きが分かり、季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方について理解する力
- ・ 日常着の手入れが必要であることや洗濯の仕方を理解し、適切にできる力

##### 【思考力・判断力・表現力等】

- ・ 日常着の快適な着方や手入れの仕方を考え、工夫する力
- ・ 季節の変化に合わせた住まい方を考え、工夫する力

##### 【学びに向かう力・人間性等】

- ・ 衣生活・住生活の課題を解決しようとする力を養い、よりよい住まい方を工夫して、積極的に実践する力

## 学習内容の系統

5年「物を生かして住みやすく」  
・ 身の回りを気持ちよく整え、物や環境を大切に生活した生活を工夫することができる。

6年「夏を涼しくさわやかに」  
・ 暑い季節を気持ちよく過ごすための工夫を考え、生活の中に生かすことができる。

6年「冬を明るく暖かく」  
・ 寒い季節を気持ちよく過ごすための工夫を考え、生活の中に生かすことができる。

## 児童の実態

〈知識及び技能〉

— 略 —

〈思考力・判断力・表現力等〉

— 略 —

〈学びに向かう力・人間性等〉

— 略 —

## 題材の目標及び評価規準

### (1) 題材の目標

夏の暮らしの特徴や快適さについて考えたり、調べたりすることを通して、季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、自然を生かした快適な住まい方を工夫することができるようにする。

### (2) 評価規準

#### 【知識及び技能 (ア)】

- ・ 夏を快適に過ごすための着方や手入れの仕方と住まい方を理解している。
- ・ 夏を快適に過ごすための着方や手入れをすることができる。

#### 【思考力・判断力・表現力等 (イ)】

- ・ 環境に配慮して夏を快適に住まうために生活を工夫することができる。

#### 【学びに向かう力・人間性等 (ウ)】

- ・ 夏の暮らしの特徴と課題に気付く。

## 題材計画

全7時間予定 本時3時間目

	時	ねらい (評価規準)
つかむ	1	題材を通した学習計画を立てることができる。(ウ)
	2	学習計画を立てることができる。(ウ)
追究する	③	夏を快適に過ごす着方を理解することができる。(ア)
	4	夏を快適に過ごす住まい方を理解することができる。(ア)
	5	手洗いを中心とした洗濯ができる。(ア)
	6	既習事項を振り返り、家庭での実践計画を立てることができる。(イ)
まとめる	7	家庭での実践発表会を通して、友達の応用や工夫について気付くことができる。(ウ)

## 指導方針

- ・ 学習課題、学習計画を児童と作り上げることによって、本題材に興味をもち、どんなことを学んでいきたいか一人一人が考え、明確になった課題に向かって主体的に学べるようにする。
- ・ 学校での学習と家庭での実践を繰り返すことによって、技能や知識の定着を図れるようにする。
- ・ 夏を涼しく生活する工夫等について家庭でインタビューしてくることで、自分の実践計画に生かしたり、友達と共有して深い学びに結び付けたりできるようにする。
- ・ 個で思考した後、グループや全体での交流を通して、様々な視点の意見に触れることにより、自分の考えを広げたり、深めたりできるようにする。
- ・ ホワイトボード、付箋等に自分の意見を書いたり、ハンドサイン、話形を示し意思表示をしたりすることによって、友達と学び合う交流活動をより活発に効果的にできるようにする。

# 本時の学習

【ねらい】夏を快適に過ごすために、衣服の着方を考えることができる。

夏をすずしくさわやかに 快適メガネ

### すずしい着方

- ・えりやそでがあいている服(半そで、短いズボン)  
ゆったりした大きさや形 → 風通しがよい
  - ・布が薄い服 ⇔ 羊毛
  - ・色は寒色 → 見た目のすずしさ
  - ・帽子 → 日光をさえぎる
  - ・サンダルやげた → 風通しがよい
- ◇すずしい着方をするために、布について調べよう。

まとめ

快適に涼しくするには、下着を着て汗を取り、薄い通気性のあるものを着るとよい。

「夏をすずしくさわやかに」

1	学習課題を立てる	6/12
2	学習計画を立てる	6/19
3	すずしい着方を考える	6/26
4	せんたく(手洗い)をやってみる	7/3
5	すずしい住まい方を考える	7/3
6	家ですずしくさわやかに過ごす工夫を考える	7/4
7	家庭での実践発表会をする	7/17

◎④すずしく着るために、私がやってみようと思うことは、

実験方法	結果	気付いたこと

### 授業改善の視点

ねらい達成のために、友達と考えを交流する。  
・交流する場面において、ハンドサインを用いて意思表示し、児童同士で考えをつなげるようにする。

### 身に付けさせたい力

○実感を伴った理解を促す実験を通して、科学的な認識に基づいて、学んだことを自分の生活に積極的に活用する力

### 本時で目指す児童の姿

○自分で調節できる最も身近な環境は、衣服であることに気付き、健康で快適な衣生活を自分なりに工夫する。

## 本時のめあてをつかむ 10分

- 前時の学習課題を振り返り、本時の学習課題を確認する。  
T 今日「夏をすずしくさわやかに」の3時間目の学習です。どんな学習をしますか。  
S 涼しい着方について考えます。  
T そうですね。この時間は、涼しい着方について考えていきましょう。
- 本時の流れを確認し、課題解決の見通しをもつ。  
T 涼しい着方をするには、どうしたらよいか。  
S 半袖で風通しをよくします。  
S ○○さんの意見に付け足して、半ズボンやスカートが涼しいと思います。  
色は、白や水色が涼しそうだと思います。  
S 薄い布がいいかなと思います。トレーナーは厚いから暑いと思います。  
T 薄着になった方がよいという意見ですが、下着は着た方がいいかな。  
S 着ない方がいいと思います。  
T 薄着をして、薄い布が涼しいという意見になりました。どのような布が涼しいか、どのように着たら涼しいか実験してみましょう。

◇すずしい着方をするために、布について調べよう。

### 指導上の留意点及び主となる支援

・本時の学習が主体的な学びになるよう、学習課題と学習計画の確認を行い、本時の学習に見通しをもたせて授業を始める。

## 話し合う(考える、分かる、伝える) 25分

### 太字は、研修との関わり

- 自力解決をする。  
T では、全員でやってみましょう。左手には手袋をはめてください。その上からビニール袋を被せて留めます。右手には袋だけを被せて留めます。5分間、そのままいきましょう。どうなるかな。  
S 暑くなってきた。汗が出てきた。  
T 5分経ちました。どうですか。  
S 手袋をしている方は、汗が吸い取られている。
- ペア交流をする。  
T 隣の人に、自分の考えを発表しましょう。友達と同じ感想かな。
- 全体交流をする。  
S 手袋を付けていない方が涼しいと思ったけれど、汗を吸い取る方が快適で涼しいと思いました。どうですか。  
S 同じです。右手は汗が出て、そのままになってしまって気持ちが悪かったです。  
T では、下着や靴下は・・・。  
S 付けた方が快適で涼しいと思います。匂いもしないかな。  
T 次にグループで、薄い布に風が通るか実験をします。  
S ドライヤーの風が通った方が・・・、涼しい。  
T (2種類の布で実験) 薄い布は、涼しいですか。  
S 薄いだけでは涼しくありません。薄くて、目が粗い方が風を通して涼しいです。

### 指導上の留意点及び主となる支援

- ・実験を通して、実感を伴った理解ができるようにする。
- ・児童同士の交流では、意思表示したり考えをつないだりできるようハンドサインを用い、考えを広げたり深めたりできる全体交流を行う。
- ・実験の結果から、涼しい衣服の着用につなげられるように、発問を繰り返す。

〈評価規準〉

夏を快適に過ごすために、気温や季節の変化に応じた涼しい着方について理解している。  
(評価方法) 発表、ワークシート

## まとめる、振り返る 10分

- まとめる。  
T 今日の学習のまとめです。みんなは、下着は着ない方が涼しいと言っていたけど、実験をしてみて、どう思いましたか。  
S いつも着ていないけれど、汗を吸い取ることが分かりました。  
T 薄い布はどうでしたか？  
S 薄くても空気が通らないと暑いことが分かりました。

まとめ

快適に涼しく着るには、下着を着て汗を取り、薄くて通気性のあるものを着るとよい。

### 7. 振り返る。

- T 涼しく着るために自分がやってみようと思うことを書いてみましょう。  
◎④涼しく着るために私がやってみようと思うことは、・・・  
T 次の時間は、学習計画の4時間目です。今日の手袋のように汗で汚れたものは・・・  
S 洗濯する！

### 指導上の留意点及び主となる支援

・学びを実感できるように、児童の言葉でまとめる。  
・次時の学習を確認することで、本時の学習を生かそうと意欲をもって取り組めるようにする。